

令和4年5月 経営協議会（対面・オンライン併用）議事録

I. 日 時 令和4年5月19日（木） 14時00分～16時08分

II 場 所 学術総合センター 一橋講堂特別会議室101～103

III. 出席者 中山学長、犬養、岩田、河田、草開、黒木、塩尻、島田、銭谷、西堀、萩原、舩橋、正宗、宮坂、中谷、渡邊、藤江、金原、手島、岩崎、小澤、佐藤（之）、松原、横手、諏訪各委員

がざー 角倉、山本各監事
(欠席者：堀委員)

※下線はオンライン出席者

IV. 前回議事録について
原案のとおり承認された。

V. 審議事項（◎学外委員、○学内委員）

1. 令和5年度施設整備費要求事項（案）について

手島理事から、令和5年度施設整備費要求事項（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

主な意見は以下のとおり。

◎ 資料に「宇宙園芸」という記載があるが、具体的に何を行おうとしているのか。

○ 宇宙でどのように植物を栽培していくかが、一つの大きな目標である。ゼロエミッションでなければ宇宙では出来ないため、その技術を地上にもフィードバックしていきたい。

2. 千葉大学入学料、授業料及び寄宿料の免除等に関する規程の一部改正（案）について

渡邊理事から、千葉大学入学料、授業料及び寄宿料の免除等に関する規程の一部改正（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

主な意見は以下のとおり。

◎ 大学フェロシップ創設事業において、どの程度の学生を支援するのか。

○ 毎年150名である。

VI. 報告事項（◎学外委員、○学内委員）

1. 令和3年度資学運用実績及び令和4年度第1回千葉大学資金運用管理委員会報告事項等の報告について

手島理事から、令和3年度資学運用実績及び令和4年度第1回千葉大学資金運用管理委員会報告事項等について、資料に基づき報告があった。

2. 令和4年度千葉大学入学状況等について

渡邊理事から、令和4年度千葉大学入学状況等について、資料に基づき報告があった。

主な意見は以下のとおり。

◎ 充足率について、全部の学部が100%以上かつ110%以下となっているが、このような形にするには、相当な工夫をしていると思うが、どのような工夫を行っているのか。

○ 基本的には各部局で蓄積されたノウハウがあり、それを基に毎年やっている。なお、定員が割れた場合には、追加合格を行っているが、本年度はその追加合格もほぼなく、合格手続きをした学生が、100%前後に収まる等、入学者について、良い予測が出来たと感じている。

3. 医学部附属病院の運営状況について

横手副学長から、医学部附属病院における2022年度の執行部体制、新型コロナウイルス感染症への対応状況、塩野義製薬との共同研究部門設置、2021年度の寄附金受入実績及び2022年4月の稼働状況等について、資料に基づき報告があった。

4. 新型コロナウイルスへの対応について

中谷理事から、本学における新型コロナウイルス感染者等の状況について報告があった。続いて、小澤副学長から、現在の授業の実施状況等について報告があった。

5. 学長主催講演会シリーズ（第1回）の開催について

中山学長及び金原理事から、学長主催講演会シリーズ（第1回）の開催について、資料に基づき報告があった。

6. その他

① 東大生産研跡地活用に関する計画及び今後のスケジュールについて

手島理事から、東大生産研跡地活用に関する計画及び今後のスケジュールについて、資料に基づき報告があった。

主な意見は以下のとおり。

◎ 東大生産研は、日本のロケット開発の発祥の地であるため、子ども向けに宇宙・ロケット等、夢を育むような何かが出来たら良いのではないかと。

◎ 昨日の新聞に、大学発ベンチャー企業のランキングが20位まで掲載されていたが、千葉大学はなかった。今の話に関連するが、スタートアップ企業が使いやすいようなオフィス、研究の施設等を作る必要があるのではないかと。

○ スタートアップについては、十分な状況ではないため、学術研究・イノベーション推進機構において、少しでも多くスタートアップが実現するような対策を整えているところである。

◎ 企業の研究開発部門を呼び込んで大学の共同開発部門と連携して、何かを新しく作っていくというイメージが良いのではないかと。そのためには千葉大学に関心がある企業がここに来るように働きかけないといけないと思う。

- 本学が考えている教育研究とシナジーが描ける企業、もしくは公的な研究機関に入
っていただき、10年後、20年後を見据えてやっていきたいと考えている。
- ◎ 整備費用は用意できているのか。千葉大学の通常予算から措置するとなるとな
かなか進まないと思う。特別な寄附を募る等、何か別枠のお金を用意しないと。この機会
に大学ファンドを作るのも良いのではないか。
- ◎ プランニングが大事である。プランできる方を入れた委員会を作ってきちんとした
プランを立てて、整備していくのが良いと思う。新聞記事で子育てしやすい街の上位
に松戸市や柏市が入っていたが、保育園を作って共働きをしやすくする等、大学の先
生では考えられないことをすれば非常に良いと思う。また、様々なことを進めるにあ
たり、ぜひ指定国立大学に入っていたきたい。
- ◎ 国立大学で観光地になっている大学はほとんどない。例えばキャンパス全体で千葉
大学を象徴する施設を作る等、みんなが行きたくなるようなものを作ってはどうか。
- ◎ 世界に冠たる大学にするという観点から大学の考え方をまとめて、プランニングし
ていくことが本当に大事だと思う。また、作るための予算だけでなく、メンテナンスの
予算もよく考えて、サステイナブルなものにしてもらいたい。また、ユニバーサルデザ
インを駆使したものを作ってもらいたい。
- ◎ Integrated development という観点で、社会のニーズと地域のニーズ、その中にお
いて千葉大が果たすべき役割というものをぜひ考えてもらいたい。
- ◎ 海外の方々も来やすいような環境を作れば、ますますグローバルなイノベーション
にもつなげることが出来る。
- ◎ 常識で考えるのではなく、日本中で話題になるようなプランをもし作ることができ
たならば、資金は集まる。常識的なやり方はせず、やり遂げる強い意思をもって、特別
なプランを考えてもらいたい。

以 上